

研究分野		授業科目名				科目責任者	
生理系分野		病態運動生理学特論Ⅰ・Ⅲ				花山 耕三	
開講年次	共通/専攻/選択			単位数			
1,2,3,4	特論Ⅰ：必須専攻, 特論Ⅲ：選択			特論Ⅰ：4(2/年), 特論Ⅲ：1/年			
目的							
(1) 機能障害の診断・治療に関する臨床・研究についての体系的な知識を得る。 (2) 機能障害の研究の計画・運用についての基礎作りをする。							
授業到達目標							
(1) 神経系, 運動器系の疾患に関する診断・評価・治療, あるいは生理学・解剖学・病態生理学に関連する英文誌の内容を的確に説明することができる。 (2) 情報を取得して知識を高めることにより他者の発表に対して, 積極的に質問やコメントを行うことができる。							
授業計画							
回数	月日	曜日	時間	担当者	区分1	区分2	授業内容
1	奇数週	火	8:00-9:00	花山 耕三	講義	[抄読会]	中枢神経系, 末梢神経系, 筋骨格系, 呼吸循環器系の疾患ならびに障害に関して他の医師が発表した英文論文内容に対して質問し, 意見を述べる。 [場所:本館棟5階カンファレンス室4]
2	偶数週	火	8:00-9:00	花山 耕三	講義	[抄読会]	自ら中枢神経系, 末梢神経系, 筋骨格系, 呼吸循環器系の疾患ならびに障害に関する英文論文文献を熟読し, その要約を紹介する。質問に対して的確に答える。 [場所:本館棟5階カンファレンス室4]
評価方法							
【特論Ⅰ】 (1) 1年間※で, 講義は30時間出席し, 科目責任者から履修手帳に出席印をもらい, 提出する。 (2) 1年間※で, 論文紹介または症例発表を2回行い, その要約2編を提出する。 【特論Ⅲ】 (1) 1年間※で, 講義は15時間出席し, 科目責任者から履修手帳に出席印をもらい, 提出する。 (2) 1年間※で, 論文紹介または症例発表を2回行い, その要約2編を提出する。 ただし, 特論Ⅰ・Ⅱで紹介したものと異なる論文(症例)であること。 特論ⅠとⅢの同年度での重複受講は不可とする。 ※1~3年生は2月末まで, 4年生は11月末までの講義を当該年度の単位認定の対象とする。42・43頁:単位履修方法参照。							
課題(レポート等)に対するフィードバック							
要約につき, 討論し添削指導を行う。							
教科書							
ISBN-9784307750523, 現代リハビリテーション医学(改訂第4版), 千野 直一(監修), 金原出版, 2017							
参考書							
ISBN-9784263217306, 最新リハビリテーション医学(第3版), 江藤 文夫・里宇 明元(監修), 医歯薬出版, 2016							
準備学習(予習・復習等)							
(1) 文献を熟読し, 要領よく内容を説明できるよう準備する。 (2) 必要な参考文献も収集し, 内容を説明できるように準備する。 (3) 発表後, 質問や指摘事項もふまえて要約を作成する。							
修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連							
課題を探究し, 仮説立脚, 検証に至るまでの科学的方法論・思考法を知悉する。							
注意事項・メッセージ							
2年以内に出版された比較的新しい英文論文を熟読すること。							